

# チャームさんのビジネス能力の全て

チャーム様 2004年10月26日 10時0分 千葉県

ビジネス能力の診断には、もともと社会的な成敗を占うのが得意な四柱推命をつかいます。四柱推命の命式のなかでも、月干の通変星が実社会でビジネスをする際に発揮される星です。この星をみることで、ほらふき度、根回し度、優柔不断度、責任感度、現状改革度、芸術・審美善度、経済社会度、勝負どころを占います。さらに、そういった天賦の能力を開花させるには、行動が必要となりますが、この行動をみるためには、日支の十二運星を見て占います。最後に、ビジネスの荒波を超えていくためのポイントは、性格的な観点を見ますので、日干をみて占います。

## ■チャームさんの能力ランキング

チャームさんのビジネス能力は、偏官星です。これから、下に示すような能力であることが診断できます。

### ■チャームさんの『ほらふき度』

チャームさんは、『ほら』をふくのは得意ではありません。上司の指示通りに忠実にやるタイプなので、口から言葉が出る内容は、会社の上司からの指示であることが多いのです。ですから、ほぼ100%、口にした内容は忠実に実行に移すことでしょう。もし言った内容を実行しないということがあれば、上司から中止命令が出たか、組織がらみの不正に関与したくないという良心の叫びに従った結果でしょう。ふだんは上司の命令には絶対でも、上司の不正で自分の立場が悪くなりそうだと判断すれば、最後まで指示に従うことを抵抗するでしょう。

### ■チャームさんの『根回し度』

チャームさんは、基本に忠実であり、無用な感情より理性が先に走りますので、組織にうまく適応していきます。部下への根回し、上司への根回し、いづれも得意とするところです。ですから、チャームさんに仕事を任せている限りは、他の部署から「きみ、勝手にやってもらっては困る」とか、突然上司から「報告しないでやるのは困るなあ」、「会社の方針に合わないじゃないか」といった組織にありがちなクレームやトラブルは極力回避してくれるはずです。サラリーマン人生をかけた一世一代の危険度の大きいプロジェクトでも、勇気をもって取り組む姿勢はあります。しかし、十分な備えと根回しができていないと、慌ててことを進めることはありません。

### ■チャームさんの『優柔不断度』

チャームさんは、基本を大切にし、何事にも慎重かつ迅速に事を進めるタイプなので、上司や会社の指示を的確に守って職務を遂行していきます。ですから、よっぽどのがない限り優柔不断ということはありえません。もし、チャームさんが優柔不断な行動を取るとしたら、上司の指示がころころ変わっていることが多いのです。または、会社がリストラを断行した場合、保守的なチャームさんは最後まで会社に残ろうとして、上司の顔色を伺いながら仕事をする可能性はあります。通常の仕事以外での社会生活では、チャームさんが優柔不断になることはまずありませんが、このように上司や会社の影響を受けてしまって、結果的に優柔不断と判断されることはあるでしょう。

### ■チャームさんの『責任感度』

チャームさんは、自分自身で納得するまで調査して、そのあとに仕事を始めるというタイプではありません。上司が決定した内容であれば、忠実に責任をもって最後まで遂行するというタイプです。ですから、会社の決定や方針がたとえ間違っていたとしても、チャームさんはそれを義務として理解し、確実に

遂行しようとしています。そのため、職務遂行を全うすると意味での責任感はありませんが、私利私欲のある上司に使われると、本心との葛藤でストレスがたまっていきそうです。しかし、あまりにひどいと上司の場合は、討ち死にするだけの肝っ玉はあるようです。

#### ■チャームさんの『現状改革度』

上司からの指示そのものが、現状を変革するものであれば、チャームさんはそれを忠実に実行し、全体のとりまとめをして改善や改良といった『改革』をきちんと立ち上げるでしょう。しかし、自分で、社内の問題点を積極的に洗い出して、会社の方針までを含めて新しい旋風を起こすといったタイプではありません。しかし、チャームさんは、優秀な部下をきちんと指導できる管理能力がありますので、部下の協力があればそれも可能になるはずですが、ただし、チャームさんは、ニュービジネスの場面に率先して立つことはやめる方がいいでしょう。あまり欲を出さず、あくまでも現状の稼働している業務の中でやっていくべきです。

#### ■チャームさんの『芸術・審美善度』

チャームさんは、親が伝統的な工芸に携わるような職業であった場合、自分はそれを継がないといけないと思うタイプです。だから、自分で率先して関心を抱いて芸術や工芸の道に入っていくというよりも、義務感や使命感で入っていくことが多いのですが、特に苦になるわけではありません。そのため、ピカソのような”奇抜”な芸術を生み出す感性はありませんが、伝統的な芸術であれば、基本的に忠実なので、正確で品質の高いものをうまく習得することができます。ときには大胆な芸術作品を生み出すこともありそうです。

#### ■チャームさんの『経済社会度』

チャームさんは、上司や人の真意を上手に汲み取り、それに応じた行動をする能力があります。人の言葉のちょっとした調子の変化にも、敏感にその人の真意を悟ることができますので、組織の中においては、上司の信頼を勝ち取り、部下をうまく使うことにつながっていくのです。そのため、もしチャームさんが配属されたグループのリーダーが、やり手の場合には、チャームさんの特性をすぐに認めるでしょうし、そのグループ全体が社会に貢献し、利益も出していくことが可能になります。

#### ■チャームさんの『勝負どころ』

チャームさんにとって「勝負」とは、チャームさんの出世や発展を阻むような競争相手との対決を意味しています。時としては、その競う対象が1人の異性であるかもしれません。心の底では、勝気で負けず嫌いなチャームさんは、競争という中で、理性をフルに活用して戦いに挑み、目標を達成することができるかどうか最大の勝負どころとなります。

#### ■能力を効率よく発揮させるためにはどうしたら良いか？

チャームさんの行動習慣は、「長生星」です。これから、下に示すようなビジネス行動であることが診断できます。

チャームさんは、あまりにも好きなことを自由にやらしてくれる環境よりも、ある程度しっかりマネジメントされた環境のほうが、持ち前の成長願望が発揮できて成果もでることでしょう。チャームさんの心は大変純粋で、たとえば、子供のように好きな蝶々をどこまでも追いかけていくようなタイプですから、誠実な友人や同志がどんどん増えてきて、その結果、信頼を勝ち得て

いきます。また、自分にマッチした分野で仕事をしていくと、やがては卓越した能力を発揮するようになります。ただし、決まり切った仕事をするとうすぐに飽きてしまいます。ですから、研究目的や開発目的が明確で、上司から絶大な信頼をうけて、すべての責任をもって仕事をすすめていくのが、チャームさんにふさわしい仕事環境です。ただし、食事を忘れるくらい研究や技術の習得に没頭しますので、本来の業務目的からずれることもありそうです。そうかと思えば、自分の趣味嗜好の世界に入り込みすぎて、スケジュールを忘れてしまうようなこともありますので、転職、独立するなら、しっかりとマネジメントされた職場に行くべきです。

#### ■ビジネスの荒波を超えていくためのポイント

チャームさんの日干は戊ですから、非常に冷静に対応できますから、生死にかかわるような事でもない限り、運に吞まれてしまうということはありません。どんな環境でも、本来の自分でいられるということは、ビジネスが発展しているときは、冷静で神々しいまでの輝きを放ちます。しかし、うまくいかないとき、困難に直面しているときは、柔軟な対応ができず、頑固さだけが際立って見えるようです。したがって不運なときに、どれだけチャームさん自身が柔軟に変化できるかが、ポイントとなります。